

波賀中だより

宍粟市立
波賀中学校
2024.6.28
6月号



めざす教師像 「学び続ける教師 （我以外皆我師也）」

学校長 高井 和也

例年より遅い梅雨入りとなりました。その雨を受けた紫陽花が色鮮やかな季節となりましたが、保護者の皆さま、地域の皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

学校では、グラウンドや体育館から運動部の元気な掛け声やボールの音が聞こえ、校舎の上階からは吹奏楽部が演奏する音が響く穏やかな放課後の風景が広がっています。このように生徒たちの大きな活躍の場となっている部活動ですが、少子化による生徒数の著しい減少をはじめとする社会の変化により、これまでのような活動を続けていくことが困難な状況となっています。文部科学省(スポーツ庁・文化庁)は、今後、持続可能な部活動をめざし、二〇二三年から三年間の改革推進期間を経て、部活動の地域連携・段階的な地域移行を全国的に進めることとしました。新聞やニュースなどでも報道され、地域や保護者の方もいくらか関心を持たれているのではないかと思います。しかし、受け皿となる地域スポーツクラブなど運営団体の設立や、指導者としてふさわしい資質を備えた人材の確保やその育成、施設面、大会等の持ち方、参加生徒の家庭への経済的な負担や生徒の安心安全を保障する事故への対応と保障など、様々な課題が山積し、実現に向けての道のりはなかなか容易ではないことが予想されます。一方で、教員の働き方改革などの課題も生じている中、宍粟市におきましても、市全体で協働しながら、子どもたちの自発的な参画を通して「楽しさ」「喜び」を感じることに本質を置く「新しい部活」の創造に向け、歩みを進めようと検討されているところ

です。今後、教育委員会や関係各課、様々な関係機関や地域の方々との議論が重ねられることと思います。その部活動において、いよいよ今週末(六月二十九日、三十日)には、宍粟市中学校総合体育大会が開

催され、九年生にとっては西播総体、県総体へと続く最後の公式戦がスタートします。この大会では負ければ引退となる種目もあります。勝敗がすべてではありませんが、一試合でも一セットでも一点でも多く取り、少しでも長くチームの仲間とプレーし、ともに喜び、ともに励まし合う時間を楽しくできればと思います。また、同じように吹奏楽部も、七月三十一日に県吹奏楽コンクール西播大会を迎え、その後、二期の演奏会シーズンへと入ります。吹奏楽部としての締めくくりに向けて、これからの活動を一日一日集中して頑張っていきたいと思います。

さて、本校の学校経営方針には、めざす学校像、めざす生徒像、めざす教師像があります。めざす学校像を「笑顔あふれる心丈夫な学校」、めざす生徒像を「社会に貢献できる生徒」、そしてめざす教師像を「学び続ける教師（我以外皆我師也）(ワレイガイミナワガシナリ)」としています。子どもたちに学ぶことを求めるのと同じように、私たち教職員も学び続ける教師でいよう、そして、子どもや保護者、地域の方々など周囲のすべての人々が、自分にとって師匠であるという思いで学んでいこう、という意をもってこのような教師像を掲げ、日々の教育活動に取り組んでいます。私自身もこれまでの教師生活の中で、周囲の方々に多くのことを教えていただきながら教員を続けてきました。とりわけ、学校の中で一番多くの時間を共有してきた生徒たちからは、本当にたくさんのお話を学び、生徒を育んでいるつもりが自分が生徒に育ててもらったような気がします。部活動指導においても同様です。半数以上の教師が未経験の部活動を担当しているという統計結果も出ているように、自分が経験したことのある種目や指導経験のある部活動を担当するということは多くありません。私も、経験のないソフトボール

部を担当したときは大変苦労しました。野球とは似て非なる種目であり、腕を風車のように回旋させて投げるウィンドミル投法、セフティバントや走りながら打つスラップなどを駆使した戦法など、たくさん書籍や指導者用ビデオで勉強しながら部活動指導に臨んだものでした。しかし、一番多くのことを教わったのは、その当時の生徒たちからでした。自分には指導経験もなくいろいろと教えてほしいことを正直に伝えると、生徒たちは丁寧に、そして一生懸命に教えてくれたりアドバイスをしてくれたりしました。決して驕ることなく、むしろ、教えることや一緒に考えることを楽しんでいような様子でした。少しずつルールや戦術、そして指導方法や練習メニューもわかり出し、チームも少しずつ力をつけていることが感じられました。しかし、いざ試合となると、明らかに指導力不足で負けました。このことや、監督の差で負けてしまったと、生徒たちには大変申し訳なく感じたことなど数知れません。でも、生徒たちはそんな私を責めることなく、最後まで一生懸命ついてきてくれました。また、保護者の方々も、批判的な言葉をあげることもなく、むしろ励ましてくださったり、いいプレーの時や試合に勝った時は一緒に喜んでくださったりと、今思い出しても感謝しかありません。そして、技術的なことだけでなく、人として大切なことを生徒や保護者の方々からたくさん学んだように思います。

本校でも、教職経験が少なく未経験の部活動を指導している教職員が多いのが現状です。しかし、どの教職員も日々の授業準備や学級経営、生徒指導など多忙な業務の中、部活動においても練習試合の日程調整をし、他校の顧問からの情報収集などをもとに、生徒とともに練習方法などを試行錯誤し、一緒に汗をかきながら、そして保護者の方々に支えていただきながら日々奮闘しています。そんな、生徒と教職員にとって、まさに二年と数か月わたる部活動の集大成となる熱い夏が始まります。これまで各ご家庭で、子どもたちをしっかりサポートしていただいた保護者の皆さまの思いを胸に、生徒たちは、心震わせるような素晴らしいプレーや頑張りを見せてくれることと思います。地域の皆さま、保護者の皆さま、どうぞ温かい応援をよろしくお願いします。

◇七年 校外学習◇

わくわくオーケストラ教室では、自分が思っていたよりもたくさん楽器があったり、授業で聞いた時みたいに見えることに曲が激しくなったり、ゆっくりになったりしていました。楽器が大きくなるにつれて、音も低くなっていきました。とても面白かったです。私はヴィオラを弾いてみたいと思いました。

〇〇〇〇

兵庫県広域防災センターを見学して、煙体験や地震体験で、災害への知識が深まりました。震度七はとても激しくて、立っただけで揺れました。能登半島地震も同じくらい揺れているので、とてもすごかったんだろうなと思いました。

7月行事予定

- 一日(月) 振替休業日
- 二日(火) 情報教育講演会
- 三日(水) ノー部活デー
- 四日(木) スクールカウンセラー来校
- 五日(金) 西播相撲大会(本校)
- 六日(土) 八年生歯科健康教室 漢字検定
- 七日(日) 小中合同参観日・部活動見学
- 八日(月) 小中合同自治会別懇談会
- 九日(火) 振替休業日
- 十日(水) 全学年到達度テスト(～十日)
- 十一日(木) 九年生三者面談(～十一日)
- 十二日(金) スクールカウンセラー来校
- 十三日(土) 八年生トライやる発表会
- 十四日(日) 西播総体壮行会
- 十五日(月) 給食最終日
- 十六日(火) 西播総体(～十四日まで)
- 十七日(水) 海の日
- 十八日(木) 大掃除
- 十九日(金) 第一学期終業式
- 二十日(土) 夏季休業日(～九月一日まで)
- 二十一日(日) 西播卓球力テット大会
- 二十二日(月) 九年生補習(～二十四日)
- 二十三日(火) 吹奏楽コンクール西播大会
- 二十四日(水)
- 二十五日(木)
- 二十六日(金)
- 二十七日(土)
- 二十八日(日)
- 二十九日(月)
- 三十日(火)
- 三十一日(水)



◇八年 トライやる・ウィーク体験記◇

「ミスノテクニクス」 〇〇〇〇

僕はミスノテクニクスで五日間働いて、紐通しや箱作り、箱詰め、皮の整理をしました。五日間働いて学んだことは二つあります。一つ目は、人との関わり方です。事業所の方と関わる中で、「コミュニケーションを学び、いろんな方々と仲良くなることができました。二つ目は、物の価値感についてです。箱詰め作業の時に、たくさんの方と触れ合っていると、やっぱり物の価値感が変わる感じがしました。二つ目は、「二つの価値感を合わせる感じになりました。それによって、二つの価値感を大切にしたい」と言われ、改めて考えさせられました。基礎的なことはわかり、最初は楽しんでも、時間が経つにつれて飽きがきました。それでも「野球が大好きだから頑張ろう」と、頑張りました。将来このような知識は役に立つと思います。しっかりと生かしていきたいです。



「波賀市民館」 〇〇〇〇

トライやる・ウィークの五日間、いろいろな部署の手伝いをしました。一日目は、北部事務所で波賀の魅力を紹介していただきました。「自然豊、葉わさびの仕事は人手不足だけれど、遠くから買いに来てくれる人がいて嬉しい!!とおっしゃっていたので、機会があれば食べたいです。二日目は、千種へ行って他の中学校の子や、普賢園わいわいが少ない高齢の方々とウォーキングをしました。天気もよくウォーキングできました。三日目は、ほろろEa mallームで、幼児たちと触れ合いました。始めはなかなか懐いてくれないでしたが、徐々に打ち解けることができました。仲間になったという達成感がありました。四日目は、かえり学園の準備をしました。本番の司会では緊張したけれど、最後までやり遂げることができました。最終日は、皆木でかまどクッキングをしました。普段は炊飯器で炊いたご飯を食べるけれど、かまどで炊いたご飯は、モチモチで甘く美味しかったです。市民局に帰る図書館まで自分のオスメ本コーナーをつくらしました。



私はトライやる・ウィークで、仕事の楽しさ、やりがいについて知りました。同じ部署の人々と協力する姿は、とても目に焼き付きました。私もみんなと一緒に回結して、楽しい仕事ができるように、将来この体験を生かしたいと思います。

「かえり園」 〇〇〇〇

私はトライやる・ウィークを終えて学んだことが二つあります。一つ目は、利用者の方とのコミュニケーションの仕方です。私は最初どんな話をすればいいのかと思っていたのですが、「よく住まわられているんですか」と聞くと、「私は水谷に住んでいるんですよ」と、気さくに話をしてくださり、会話が広がり安心しました。私と同じ水谷に住んでいることや、私のおばあちゃんが、かえり園を利用しているの、おばあちゃんの話をお聞きしました。私のことを知っている利用者の方もいらっしゃる、水谷の昔のことや、昔の遊び、私のおばあちゃんのことなど、私の知らないことをたくさん教えていただきました。二日目は、利用者の方のことを考えるお茶や食事の工夫です。お茶は飲みやすいように工夫をつけたり、ぬるめのお茶にしたりしていただきました。食器は、こぼれないように壁がついているものを使い、食事をしやすいように工夫されていて、すごいなと思いました。



「原観光りんご園」 〇〇〇〇

私はトライやる・ウィークの五日間、りんご園でいろいろな体験をさせてもらいました。一日目は、一日中袋掛けをしました。林檎の枝を持たないように気をつけて袋掛けをしました。なぜかという、林檎の枝を持ちながら袋掛けをする、林檎がこわれてしまうからです。二日目は、午前中は袋掛けをして、午後は「テーシ」の掃除をしました。利用者の方の気持ちを考えて掃除をしました。布団たたみや枕カバーを入れ替える作業をして、ホウキでベランダや二階にあるゴミを掃いてきれいになりました。三日目は、午前は袋掛けをし、午後

は原不動滝を見に行きました。川も見ました。そして水たまりに飛び込みました。四日目は、番号付きの木を抜き、白色で塗装をし、その後袋掛けをしました。午後はとんがりコーンのような物の汚れをスポンジできれいに拭きました。最終日は、午前は袋掛けをした後、パンフレットを書きました。午後は炭入れの缶「マジックペン」で「炭入れ」と書きました。



「波賀みどり保育園」 〇〇〇〇

トライやる・ウィークを終えて、僕が大切だと思ったことは「視野を広く保つこと」と、「園児への接し方」です。視野を広く保つというのは、園児たちをよく見ていることです。園児は自分たちとは違って、遊ぶときなど思った通りに動いたり、目を離すと転んで泣いていることが多くあり、視野を広く保つ必要性を感じられました。園児への接し方では、園児が怖くないようにしゃべって話したり、最初から怒らなから嫌われるので、優しく話しかけることを大切に、頑張りました。



一日目から先生方も、園児のみんなも気軽に話しかけてくれて、緊張がほぐれ、五日間楽しく行くことができました。一日の中で特に楽しかったことは二つあります。一つ目は、竹馬練習です。暑い中、五十分間ほど園児のサポートをしていて砂場で遊んでいる園児を注意することは、とても大変でした。二日目は、劇練習で園児たちが楽しい方に行ったり、言葉をなかなか覚えられなかったりしたので、教えることはそんなに大変だったんだなということが分かりました。五日間という少ない期間だったけれど、園児のみんながすくなくついてくれて良いトライやる・ウィークになりました。

「波賀B&G海洋センター」 〇〇〇〇

B&Gでは、基本的にグラウンドの整備や溝の中の清掃をしました。一、二日目はまだ慣れてなくて、腰

が痛くなったり、整備をしてもカタカタになったりして、何回もやり直してやっとできました。でも三日目から慣れてきて、より効率的にきれいにする方法が分かってきました。整備をしているときには、グラウンドを使用する方々のことを考えながらしました。特にマウンドの整備は難しくて微調整を繰り返しました。だからこそ終わったときの達成感がすごかったです。とてもしんどかったけれど、試行錯誤しながら作業するのが楽しかったです。

そして、僕が学んだことが二つあります。一つ目は、他の人と協力して作業することです。バックネット側の作業の時、「一人だと少しずつか土を運び出せなかったけど、二人で協力すると一気に土を出すことができました。二つ目は、本気で仕事をしていると、周りの人も応援してくれるということです。上げた土を土嚢に詰めているとグラウンドゴルフをしていた方々が「頑張っている偉いね」と褒めてくださったからです。この五日間は僕にとってとても有意義な五日間になりました。



「フォレストアーツセンター波賀」 〇〇〇〇

トライやる・ウィークの五日間は二つのことを学びました。一つ目は、人との関わり方についてです。掃除をするとき隅々まで掃除したうえで、もう一度細かいところを掃除します、食器の準備をするときは、箸の向きを同じ方向に全てきれいに揃えます。「作業の一つ一つに、お客様の為に、いろいろな工夫をされていること、お客様の年齢に合わせて適切な対応をしたり、相手が何を望んでいるかを考えながら、できる限り相手の要望にも応えらるるよう努力していること」を教えてもらいました。僕もいろいろな場面で、相手のことを考えて行動しようと思いました。人との関わり方への価値観が変わりました。二日目は、仕事の大変さや大変さについてです。この五日間で、僕はフォレストで働いている方々が、こんなことまでしているんだなと思うことがたくさんありました。それは些細なことではありますが大変なことも多かったです。このことを知って、将来はちゃんと仕事について頑張りたいと思いました。

